

都立本所工科高等学校 グランドデザイン

【生徒／学校の現状】
 ○4年次卒業生における進路決定率が毎年高い割合で実現しており、進路意識の醸成が徹底している。
 ○生活指導件数が少なく、安定した学校生活を送ることができる。
 ○応募者数が少なく、学力の低い生徒が多い。
 ○生徒数が少ないため、学習面、生活面を含め、指導が行いやすい。
 ○コミュニケーション能力が不足で、責務性・主体性がない。
 ○見通しを持って考えることや行動するができない。

【予想される社会の変化】
 ○AI、ロボット、IoT等の第4次産業革命により、生涯現役で多様な労働参加・社会参加が進む。学び方も大きく変化する。
 ○経営面での世代交代が、今後、急速に進むことが見込まれる

【教育目標】
 日本国憲法及び教育基本法の精神に基づき、人格の完成をめざし、機械、電気、電子の有能な技術者を育成することを目的として、次の事項の達成につとめる。
 ① 人権尊重の精神を養い、思いやりと社会貢献の精神をもった人材を育成する。
 ② 自ら学び、考え、主体的に判断できる力を養い、個性豊かで責任感のある人材を育成する。
 ③ 科学技術教育を通して、常に創意工夫への情熱をもち創造力あふれる人材を育成する。

【学校像/学校経営計画】
 「憲法及び教育基本の精神に基づき、人格の完成を目指し、機械、電気、電子の有能な技術者を育成する」ことを達成し、生徒の意欲を受け引き出す「面倒見の良い学校」、進路希望の実現を果たせる学校を目指す。

【目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿など）】
 社会の一員として自覚があり、様々な分野に高い探求心を持った工業人

【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力】
人づきあいの力（コミュニケーション）
 ○他人と協力し物事を成し遂げる力 ○ルールやマナーを守り、社会の一員として行動ができる力
努力する力（エフォート）
 ○物事に進んで取り組む力 ○他人に働きかけ巻き込む力 ○目的を設定し確実に行動する力
考える力（シンキング）
 ○現状を分析し目的や課題を明らかにする力 ○問題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力 ○新しい価値を生み出す力

【育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】

育成すべき資質・能力		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	目指すべき生徒の将来像
1 対人能力（人づきあいの力）	(1) コミュニケーション能力	①協働性（協調性）	他の人の迷惑となることとはどういう行為なのかを判断できない。	他の人の迷惑となることとはどういう行為なのかを判断できる。	相手の立場を考え、困っている人がいれば助けられることができる。	相手の長所や特性を理解し、的確に役割を分担して物事に取り組むことができる。
		②傾聴力	相手の意見を聞くが、理解ができない。	相手の意見を集中してよく聞き、理解することができる。	相手の意見を共感しながら聞くことができる。	相手の意見をよく聞いたうえで、自分との違いや共通点が理解できる。
		③折衝力	正しい言葉遣いや、基本的な挨拶ができない。	自分の意見を自分の言葉で的確に表現できる。	初めての人と適切な態度で接しながら意見を交換できる。	自らの立場を説明したり、相手の立場を理解しながら協議ができる。
	(2) TPOをわかまえる力	④TPO（社会性）	所属する組織・集団の一員として、指示やルール・マナーを守ることができない。	所属する組織・集団の一員として、指示やルール・マナーを守って、行動できる。	一般常識やルール・マナーの意味を理解し、所属する組織・集団の一員として行動できる。	一般常識やルール・マナーの意味を理解し、主体的に所属する組織・集団の一員として行動できる。
		⑤社会貢献	指示されたとおりに社会貢献活動に参加し、全体を妨げずに行動することができない。	指示されたとおりに社会貢献活動に参加し、全体を妨げずに行動する。	社会貢献の目的・目標を意識した行動ができる。	社会貢献の目的・目標を理解し、主体的に貢献することができる。
	(3) プレゼンテーション能力	⑥プレゼン力（表現力）	支援されなくても、発表や文章の作成を行うことができない。	準備された内容について口頭発表や文章化、図表化できる。	発表や文章化、図表化の際に受け手の分かりやすさを意識できる。	他者へのアピールを意識して発表や文章化、図表化できる。
2 意欲（努力する力）	(4) 能動性・主体性・実行力	⑦能動性（積極性）	周囲に支援されても、課題に取り組むことができない。	与えられたり、克服方法を支援をされて課題に取り組む。	自ら得意なことに取り組んだり、苦手なことに挑戦する。	課題・問題の解決に見通しを持ちながら取り組み続ける。
		⑧主体性	周囲と協調しながら、自分の考え・意思を持った言動と行動ができない。	周囲と協調しながらも、指示や前例に基づいた言動と行動ができる。	周囲と協調しながらも、自分の考え・意思を持った言動と行動ができる。	周囲と協調しながらも、自分の考え・意思を持ち、他に影響されることのない言動と行動ができる。
		⑨実行力	計画を立てることができるが、実行できない。	計画を立てることができ、それを実行することができる。	計画を理解し、状況分析を基に、実行することができる。	計画を理解し、状況分析を基に、効果的な方法を選択し、確実に実行することができる。
	(5) 多様さに対応できる柔軟性	⑩柔軟性	多様な状況や突然の変化との遭遇において、状況に応じた考えや行動ができない。	多様な状況や突然の変化との遭遇において、状況に応じた考えや行動ができる。	多様な状況や突然の変化との遭遇においても、広い視野と知識を基に、状況に応じた考えや行動ができる。	多様な状況や突然の変化との遭遇においても、広い視野と知識を基に、状況に応じた適正な考えや行動を選択できる。
(6) 責任を持って取り組む力	⑪責任感	指示された約束を守ったり、役割をこなすことができない。	指示や約束、割り当てられた役割の意味を理解して行動する。	約束や役割に対して主体的に行動し、責任を果たす。	全体の動きや目標を理解し、他人との役割を分担しながら、自分の役割に責任を持つことができる。	
3 総合思考（考える力）	(7) 思考するプロセス	⑫計画性	指示や支援がないと、自ら目標達成のための方法を組み立てることができない。	指示や支援がなくても、自ら目標達成のための方法を組み立てることができる。	自己の課題の目的・目標を理解し、その目標達成のための方法を組み立てることができる。	所属する社会・集団や自己の課題に応じた的確な目標を設定し、その目標達成のための方法を組み立てることができる。
	(8) 論理的思考	⑬論理性	ある事象に対し、筋道をたてて、順序正しく整理して、まとめることができない。	ある事象に対し、筋道をたてて、順序正しく整理して、まとめることができる。	ある事象に対し、確実な根拠に基づき、筋道をたてて、順序正しく整理して、まとめることができる。	ある事象に対し、確実な根拠に基づき、筋道をたてて、順序正しく整理して、説得力の高い考えとして、まとめることができる。
	(9) 創造的思考	⑭創造性	自己について、より良い未来や可能性を広げるための、新たな価値を初めてつくり出すことができない。	自己について、より良い未来や可能性を広げるために、他への働きかけや影響も考慮しつつ、新たな価値を初めてつくり出すとする。	社会や所属する集団・自己について、より良い未来や可能性を広げるために、他への働きかけや影響も考慮しつつ、新たな価値を初めてつくり出すとする。	社会や所属する集団・自己について、より良い未来や可能性を広げるために、他への働きかけや影響も考慮しつつ、新たな価値を初めてつくり出すことができる。
	(10) 様々な知識を総合させて活用する応用力	⑮応用力	すでに得た知識を使って、新たな事柄に対し、対応することができない。	すでに得た知識を使って、新たな事柄に対し、対応することができる。	すでに得た知識を使って、新たな事柄に対し、対応することができ、さらに深く理解するために、効果的・効率的に必要な知識を選択し、活用することができる。	すでに得た知識を使って、新たな事柄に対し、対応することができ、この学びとの関連に気づき、より深く理解するために、効果的・効率的に必要な知識を選択し、活用することができる。

※各校で、「資質・能力」の数や「レベル」の段階数は変更する。